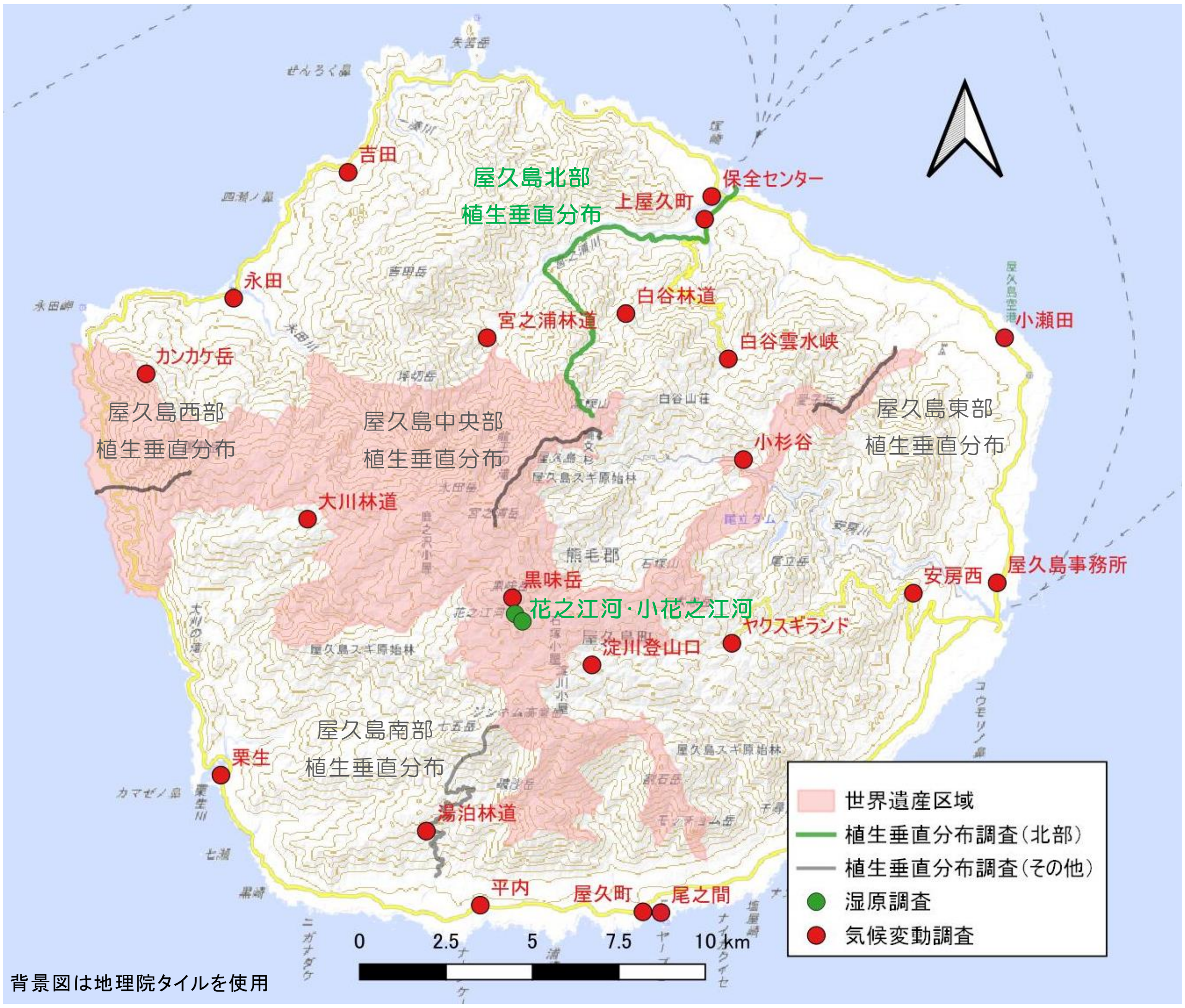
資料　３－２

令和7年度
屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査等計画

【調査内容】
　1　屋久島北部地域の垂直方向の植生モニタリング調査
　2　湿原の植生状況等のモニタリング調査等
　3　著名木（龍神杉）の樹勢診断
　4　森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

【現地調査・データ収集箇所（緑色部・赤色部）】



1　屋久島北部地域の垂直方向の植生モニタリング調査

屋久島北部地域の垂直方向の植生モニタリング調査を行い、調査結果を取りまとめる。また、今回と過去４回(平成 17、22、27、令和２年度）の調査結果を比較・分析し、動態予測を行い評価する。

２ 湿原の植生状況等モニタリング調査等

（１） 小花之江河における植生保護柵内外の植生モニタリング調査
（２） 湿原における水の流入流出量及び気象モニタリング調査、地形調査、ハベマメシジミの生息調査
（３） 試行的保全対策箇所の土砂・枝条等の堆積状況のモニタリング調査
（４） 水域環境(流路・湛水域)・土壌堆積量の分布面積、植生群落の分布状況を調査し、地形図及び分布図の作成
（５） 令和５年度及び令和６年度に保全対策として実施した侵食防止対策及び流水分散対策箇所のモニタリング調査
（６） 湿原保全対策に基づく保全対策実施計画書の作成

３ 著名木（龍神杉）の樹勢診断

令和７年度の調査対象木は平成４年に屋久杉自然館が「屋久杉巨樹・著名木調査」により作成した「屋久杉巨樹・著名木一覧」（随時追記）に記載された著名木のうちの「龍神杉」とする。「龍神杉」は宮之浦嶽国有林 222 林班の標高 1,276 m（益救参道沿い）に生育しており、樹高、胸高周囲はそれぞれ 26.8m、10.4m である。

衰退状況の把握や今後の保護対策等を検討することを目的とし、現地確認等を行い、樹木医による地上部の衰退度判定、倒木等の危険度判定等を基に総合診断を実施する。

４ 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

気候変動による屋久島世界自然遺産地域への影響について、各機関のモニタリングデータの収集、気象庁アメダスによる気候変動等のデータの収集・分析等を行い、動態予測及び脆弱性の評価を実施する。